

| 第5回よこはま保健医療プラン策定検討部会会議録 |  |
|-------------------------|--|
| 日 時                     | 平成30年1月5日（金）19時00分～19時47分  |
| 開催場所                    | 市庁舎5階 関係機関執務室  |
| 出席者                     | 秋山治彦委員、生田純也委員、石原淳委員、小田原俊成委員、栗原美穂子委員、原久美委員、平元周委員、伏見清秀委員、堀元隆司委員、三角隆彦委員、山崎具基委員  |
| 欠席者                     | 井上登美夫委員、川田哲委員、神保修治委員   |
| 開催形態                    | 公開（傍聴者3人）  |
| 議 題                     | <p>(1) 検討事項</p> <p>ア よこはま保健医療プラン2018素案に関するパブリックコメントの実施経過について 【資料1】</p> <p>イ よこはま保健医療プラン2018原案（案）について 【資料2】</p>   |
| 決定事項                    |  |
| 議 事                     | <p>1 開会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>（事務局倉本課長）まず初めに、新たに本部会委員にご就任いただいた委員の方をご紹介させていただきます。退任されました山村委員にかわりまして、横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会地域ケアプラザ分科会の会長でございます、生田純也委員でございます。</p> <p>（生田委員）よろしく申し上げます。</p> <p>（事務局倉本課長）次に、本部会でございますが、よこはま保健医療プラン策定検討部会設置要綱第6条に定めてありますように、公開とさせていただいておりますので、ご了承をお願いいたします。なお、本日傍聴の方、3名おいでいただいております。</p> <p>また、本市では会議録は原則として公開させていただきますので、本日の議事につきましても、それぞれの委員の方々のご発言、ご発言内容の概要を記載する議事録となりますが、こちらは事務局で作成させていただきます。各委員の皆さんにご確認をお願いした上で公開することとなりますので、何とぞご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ここから先は伏見部会長に議事進行をお願いいたします。伏見先生、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 検討事項</p> <p>ア よこはま保健医療プラン2018素案に関するパブリックコメントの実施経過について 【資料1】</p> <p>イ よこはま保健医療プラン2018原案（案）について 【資料2】</p> |

(伏見部会長) それでは次第3、検討事項にあります「よこはま保健医療プラン2018素案に関するパブリックコメントの実施経過について」と「よこはま保健医療プラン2018原案(案)について」、一括して事務局からの説明をお願いいたします。

(事務局岩崎係長) 資料1、2について説明。

(伏見部会長) 事務局からの説明を受けまして、ご質問・ご意見等ありましたらご発言をお願いしたいと思います。

(堀元委員) 178ページの医療的ケア児に関するところですが、現在、在宅歯科医療・訪問歯科医療を受けている患者さんは全国でおよそ40万人いらっしゃいますが、このうち0歳から14歳までの方は全国で100人程度とされています。ほとんど在宅歯科医療にかかっていないということが課題といえます。横浜市歯科医師会では以前、年1回程度、重度心身障害児・者の口腔健診を行っていましたが、市の予算上の問題もあり、それがなくなってしまい、その後介入することができなくなっています。今後、医療的ケア児に対する在宅医療に関して、私たちが手をつけていなかったところですので、横浜市歯科保健医療センターの障害者歯科医療部門との連携も含め、計画の中でちょっと反映していただければと思います。

また、72ページの医療ビッグデータについては、横浜市医師会さんとの糖尿病・歯周病の重症化予防対策や、横浜市立大学さんと進めている周術期に関する連携が始まっていますが、一方で、歯科レセプトと医科レセプトを突合するためのデータベースがないという課題もあります。この課題は横浜に限ったことではありませんが、横浜では他都市と比べて、そのような医科歯科連携が進みつつありますので、できればそのようなものもエビデンスとして評価、継承できるような形で進めていただければと思います。

(田中課長) 医療ビッグデータについては、国保のデータヘルス計画の中にそのような点を盛り込んでいるということで、今すぐというわけではございませんが、歯科のデータを取り込んだ独自のシステムというものを検討しているということを国保の担当から聞いてございます。先生のご意見につきましては、国保の担当に申し伝えたいと思います。

また、障害児の部分ですが、在宅の障害児・者の方については重要なテーマと考えておりますので、検討をしてみたいと思います。

(岩崎係長) 歯科の関係につきましては、本編221ページ以降、「歯科口腔保健医療」に素案段階からいろいろと記載させていただいているところがございますので、あわせてご承知おきいただければと思います。

(秋山委員) 認知症に関してコラムの形でいろいろと解説をつけ加えていただき、大変ありがたく思います。わかりやすくなったのではないかと思います。

細かいことで大変恐縮なのですが、「(コラム) 認知症とは」の「アルツハイマー型認知症」の項で漢字が違っているため、修正していただければと思います。

また、「レビー小体型認知症」について、パーキンソン症状の説明のうち、筋肉

が硬直するというのはおそらく筋強剛のこと指していると思うのですが、これをわかりやすく表現するのも難しいため、「動作がゆっくりになる、手足がふるえる」でまとめてしまってもいいのかなと思いました。

(生田委員) 私はケアプラザの分科会会長としてこの会議に呼ばれておりますが、これは医療と介護の連携、もしくは地域ケアシステムという視点からであると思います。ケアプラザ、特に包括支援センターは、地域の皆様の生活の中に入って活動をしています。終末医療をはじめ、生活の中で医療関係との連携を行うということが非常に重要になっているということは仕事の中でも感じています。これに関して原案では様々な施策がまとめてあり、本当にそのとおりでないと考えています。

特に介護保険関係のケアマネジャーとの連携という点については、ケアマネジャーも医療職出身の方もそうではない方もいる中で、このような連携をとらせていただき、一緒にご利用者に当たっていくことができれば、それは非常に有効なことだと思います。そのような意味でも、このプランにはきちんと書かれているものと思います。

(石原委員) 全般的には非常によくまとめていただいていると思っています。今、地域医療計画や医療提供体制の話をする、どうしても話題が高齢者に偏る傾向があります。子どもから高齢者までということで、幅広く全ての方を対象にしているのだということをぜひ入れていただきたい以前に申しあげましたが、I章「プランの基本的な考え方」にそのようなことを意識して記載いただいておりますので、意を酌んでいただいているのかなと思っています。

(小田原委員) 精神医療、精神障害分野では、国の施策自体がまだ具体化していないところがありますが、その中でも横浜市の特徴である精神科救急について、しっかりと強調をしつつ、その他の部分は国の大きな枠組みをなぞらえていると思います。今後、いろいろと依存症に関する治療が具体化され、関連法案なども出てくる中、あらためてクローズアップされると思います。現時点ではこのような書き方をするしかないかなということで、全体として横浜市の特徴を踏まえ、端的にまとめていただけたかなと思います。

(栗原委員) すばらしいものができ上がったと思っています。これが本当に現実に向けて動き出すとよいところで、どのような形で市民の方々に知っていただくかという周知については工夫が必要だと思います。各区役所に配架するというお話もありましたが、項目ごとにそれぞれ関係する施設に配架する、例えば、在宅医療に関する項目は、診療所や往診してくれる先生の病院に配布することで、より市民の方に周知できるのかなと思います。

(岩崎係長) プランの総集編ということで概要版を作成する予定としております。また、プランそのものに限らず、医療について市民の方への周知・啓発は、今後6年間の1つの大きなテーマでもあり、キーワードであると思っていますので、関係各施策といろいろなところで広めていけるようにと思っています。

(原委員) 非常に内容が多くなっていますので、市民の方に読んでいただくときに、これがわかりやすいものなのかということを感じました。また、例えば211ペ

ージの認知症疾患医療センターの項目では連絡先の記載があるなど、これを見たいと思った市民の方にわかりやすいかたちになっていると思います。市民の方が、例えば在宅医療を受けたいとか、横浜市のがん対策を知りたいと思ったときに、またその先を調べないといければならないというものではない形でつくっていただくと、市民の方の手にとってもらえるようになるのかなと思いました。

ただ、このプランには、横浜市の独自の取組についても多く記載されていますので、市民の方が今後も安心して、医療を継続的に受けられるという体制がとれているということがしっかりと伝わっており、良いものになったと思います。

(平元委員) 本当にいろいろと工夫されていると思います。

次期改定は5年後ぐらいだと思いますが、5年後にはすでに終末期医療などの対応が大きく変わっていると思います。人生の最終段階である終末期医療や、医師のあり方に関しては軽く触れる程度にとどまっているという印象を受けます。

(倉本課長) その点につきましては、現在、国等の議論もあわせておこなわれている状況でございますので、そのような国の政策等の様々な改正・変更に対応する形で、3年を目安に見直しを行い、新たな政策の方向性等も取り入れながらバージョンアップしていくように考えております。

(藤井部長) 平元先生にも委員になっていただいておりますが、横浜市でも今年から2年をかけて、人生の最終段階について検討しておりますので、その結果をこちらのほうにも反映させていきたいと思います。

(堀元委員) 歯科に関しては、ちょうど5年前に現計画に関する検討の中で、周術期の口腔機能管理など、当時はそれほど注目されていない取組についても計画に記載され、それが国の診療報酬改定とちょうどマッチすることで、現在、それが病院などで脚光を浴びているという例もあります。

歯科口腔保健に関しては、このプランはかなり実態に即して計画を立てられていると思っており、今回も新たな提案を行っているところはあります。今後は、歯科医師会として、その受け皿としての歯科医師会の会員の診療所の育成が必要と考えており、また、先ほど栗原委員がおっしゃっていたように、このプランをいろいろな医療職や市民の方々に周知することが必要ではないかなと思います。

(三角委員) 全体に今まで議論してきたことが盛り込まれて、素晴らしいものできています。

1点に気になった点として、44ページ図表Ⅲ-1-2と53ページ図表Ⅲ-2-4が同じ内容の図だと思います。44ページでは、現在配置している位置が描かれているということでよくわかるのですが、53ページは今後の医療提供体制を、横浜市全体を1つと考えたときの区分という形で示していると思いますので、同じ図を使うとちょっと違和感があります。

(田中副局長) 44ページはこれまでの経過ということで、現在の配置をお示ししております。53ページは病床整備あるいは医療連携という視点から、今後の姿ということで、これまで培ってきた中核病院等を踏まえて、方面別にバランスよく地域完結型の医療体制を築いていきたいということでこれを示させていただいております。

|      |  |
|------|--|
|      | <p>同じ図の場合、誤解を招くのかなというご意見はございますので、検討したいと思います。</p> <p>(山崎委員) ほぼ各委員の先生と同意意見でございますが、最初に私も意見を言いましたが、地域医療構想によって二次医療圏が一つになったということが非常にわかりにくいという印象がありましたので、その経緯を記載いただいたことはよかったですのではないかと思います。</p> <p>また、医療資源には限りがあるということを基本理念に追記されています。医療資源は人材などいろいろとありますが、やはりお金の要素は大きいと思います。例えば、このプランの取組で、単価が示されているもののうち費用が一番かかっているのは、腎不全の患者さん1件当たりの医療費である月30万程度だと思います。今後、どの分野を集中的に対応する必要があるのかということを検討することが求められるとっております。</p> <p>(伏見部会長) どうもご意見ありがとうございました。ほかに追加でご発言等がありますでしょうか。</p> <p>では、一部修正等につきましては調整の上、本日の会議をもって原案を取りまとめ、1月9日の保健医療協議会に報告という形にしたいと思います。それよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p> <p>どうもありがとうございました。それではそのように取り扱うようにさせていただきます。</p> <p>4 その他</p> <p>(事務局倉本課長) 本日は貴重なご意見、またプラン実施後のご示唆も含めましてご感想をいただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>今後の予定でございますが、1月9日の保健医療協議会で報告、ご議論いただきまして、承認いただきましたら市長宛てに答申となる予定でございます。特段必要がない限りにおきまして、本日をもって当部会は終了となります。本当に長い間、ありがとうございました。</p> <p>最後に増住医療局長から一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。</p> <p>&lt;医療局長挨拶&gt;</p> <p>5 閉会</p> <p>(伏見部会長) それでは、本日の議事等は全て終了になります。1年間にわたりご協力いただき、誠にありがとうございました。</p> |
| 特記事項 |  |